

2024年6月26日

全国の教会・伝道所の女性会のみなさま  
教会に集うみなさま

日本バプテスト女性連合  
6・23「沖縄（命どう宝）の日」推進委員会

### 「祈り便」第65信（8月～11月）のご案内

悲惨な歴史を知ってから、わたしはいつも沖縄に思いを馳せながら日々を過ごしています。夏のたまらない暑さの中、日陰を探しながら歩いている時にはとくに沖縄を思います。焼き払われた地で人びとはどうやって日差しを避けられたのだろうか。

今年で79回目の「慰霊の日」（6/23）。わたしは東京の地で同じことを思いながらこの夏を迎えています。

3月20日、沖縄県うるま市石川への陸自演習場建設計画反対の総決起大会が開かれました。1200人も参加者が集まり抗議の声を上げましたが、その中で、ある高校生代表が「命より大事な正義はあるのだろうか?」と呼びかけていました。思いをストレートに語る姿と言葉に涙がこみ上げてきました。そして平和を作り出そうとする若者がいることを嬉しく思う反面、大人のわたしたちは何をしているんだと情けなく思います。

筆舌に尽くしがたい戦争を生き延びた沖縄。そして今、再び目にするのは沖縄の民意を無視した軍備拡張という現実。残酷とはこのようなことなのかとあらためて思います。東京から飛行機でたった2時間半の距離なのに、県民の置かれている状況を知る人は、いえ、知ろうとする人は非常に少ないです。近くて遠い沖縄のことをもっと多くの人たちに知って欲しい、我が事のように考えて欲しいと願います。

今この時、世界の多くの場所で紛争があり市井の人びとの命と生活が奪われています。

日本では「慰霊の日」に続き、8月には敗戦記念日を迎えます。二度と戦争を繰り返してはならないと誓いましたが再び同じ過ちをたどろうとしています。神さま、どうぞわたしたちを平和を造る者として用いてください。一人ひとりの力は小さいけれど神さまは必ずわたしたちの祈りを聞き入れてくださると信じています。これからも全国の教会・伝道所に集うみなさまと共に祈り続けたい、そしてわたしたちの隣人に沖縄のこと、祈りを聞いてくださる神さまのこと、いつも傍らにいて励ましてくださるイエスさまのことを伝えていける者として用いられますよう、合わせてお祈りいたします。

（文責・八木 麻里 [推進委員/恵泉]）